

小児科

臨床研修期間(2年間)		⇒	専門医研修期間(標準3年間)						
病院名 (60病院)	医療圏		基幹施設名(14病院)		2次医療圏	地域群	基幹・連携施設名		2次医療圏
横浜労災病院	横浜	⇒	北里大学病院	相模原	B	相模原協同病院	相模原	B	
昭和医科大学藤が丘病院						相模野病院	相模原	B	
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院						横須賀市立総合医療センター	横須賀・三浦	B	
横浜旭中央総合病院						相模台病院	県央	B	
菊名記念病院						海老名総合病院	県央	B	
汐田総合病院						神奈川県立こども医療センター	横浜	C	
昭和医科大学横浜市北部病院						北里大学病院	相模原	B	
済生会横浜市東部病院						横須賀市立市民病院	横須賀・三浦	B	
済生会横浜市南部病院						神奈川県立こども医療センター	横浜	C	
横浜南共済病院						湘南藤沢徳洲会病院	湘南東部	B	
横浜栄共済病院			横浜市立大学附属市民総合医療センター	横浜	C				
横浜市立大学附属病院			横浜市立大学附属病院	横浜	C				
横浜市立みなと赤十字病院			湘南西部	B	秦野赤十字病院	湘南西部	B		
横浜市立大学附属市民総合医療センター					伊勢原協同病院	湘南西部	B		
横浜中央病院					神奈川病院	横浜	C		
けいゆう病院					神奈川県立こども医療センター	横浜	C		
横浜医療センター					昭和医科大学横浜が丘病院	横浜	C		
横浜市立市民病院					総合高津中央病院	川崎北部	C		
国際親善総合病院					神奈川県立こども医療センター	横浜	C		
戸塚共立第1病院					横浜市立大学附属病院	横浜	C		
東戸塚記念病院	済生会横浜市南部病院	横浜			C				
聖隷横浜病院	横浜市立市民病院	けいゆう病院			横浜	C			
帝京大学医学部附属溝口病院	神奈川県立こども医療センター	横浜	C						
聖マリアンナ医科大学病院	川崎北部	横浜	C	小田原市立病院	県西	A			
川崎市立多摩病院				横須賀共済病院	横須賀・三浦	B			
新百合ヶ丘総合病院				横須賀市立総合医療センター	横須賀・三浦	B			
虎の門病院分院				藤沢市民病院	湘南東部	B			
関東労災病院				茅ヶ崎市立病院	湘南東部	B			
川崎市立川崎病院				大和市立病院	県央	B			
医療法人社団こうかん会日本鋼管病院				済生会横浜市東部病院	横浜	C			
川崎協同病院				横浜市立大学附属市民総合医療センター	横浜	C			
川崎市立井田病院				神奈川県立こども医療センター	横浜	C			
日本医科大学武蔵小杉病院				横浜南共済病院	横浜	C			
川崎幸病院	横浜労災病院	横浜	C						
相模原病院	相模原	B	C	済生会横浜市南部病院	横浜	C			
北里大学病院				横浜医療福祉センター・港南	横浜	C			
相模原協同病院				横浜療育医療センター	横浜	C			
横須賀市立総合医療センター				横浜市立みなと赤十字病院	横浜	C			
横須賀共済病院				横浜医療センター	横浜	C			
横須賀市立市民病院				横浜市立大学附属病院	横浜	C			
湘南鎌倉総合病院				済生会横浜市南部病院	横浜	C			
大船中央病院				※神奈川県内の連携施設なし	—	—			
藤沢市民病院				聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	横浜	C			
湘南藤沢徳洲会病院				横浜総合病院	横浜	C			
藤沢湘南台病院	湘南東部	C	C	川崎市立多摩病院	川崎北部	C			
湘南東部総合病院				重症児・者福祉医療施設ソレイユ川崎	川崎北部	C			
茅ヶ崎市立病院				こうかんクリニック	川崎南部	C			
平塚市民病院				日本医科大学武蔵小杉病院	川崎南部	C			
平塚共済病院									
東海大学医学部付属病院									
伊勢原協同病院									
秦野赤十字病院									
大和市立病院				県央	B	C			
海老名総合病院									
厚木市立病院									
東名厚木病院									
湘南厚木病院	県西	C	C						
小田原市立病院									
山近記念総合病院									
神奈川県立足柄上病院									

地域実践標準4年(専門研修を希望しない場合は7年間)					
医療圏2	地域群	医療機関名	病床数	受入希望理由(病院説明事項)	キャリア形成に係るメリット(病院説明事項)
県西	A	小田原市立病院	417	当院は、県西地域の基幹病院として、28の診療科を備え、急性期、高度医療や救急医療を担うとともに、地域周産期母子医療センターとして小児、周産期救急、また、脳神経疾患、整形外科疾患、外科疾患などあらゆる分野の急性期疾患に対応しています。 また、当院循環器センターでは急性冠症候群や心不全、不整脈などの心臓疾患全般だけでなく、全身の血管に関わる診断、治療を積極的に行っております。 全国的な医師不足の中、当院でも医師の招聘に苦慮しており、今後も県西地域の基幹病院としての役割を担っていくためには一人でも多くの医師を必要としていることから神奈川県「地域枠医師」の受け入れを希望するものです。	当院は地域の基幹病院として非常に幅広い症例を扱っています。また、病棟連携や病診連携、診療科間の連携が密であり、「顔の見える関係」で働ける強みがあります。 当院で地域枠医師に勤務いただき地域医療に貢献していただくとともに、当院に勤務する多くの若手医師と互いに切磋琢磨しながら一人でも多くの医師が地域医療に従事してもらえることを期待しています。 また、当院は、多くの診療科の指定研修施設として認定を受けており、地域の基幹病院の立場から非常に幅広い症例を扱っているため、多くの若手医師を積極的に受け入れて地域医療に貢献できる医師の育成に力を入れているとともに、ダビンチや遠隔医療システムなど、先進的な医療機器の導入も積極的に行っています。
相模原	B	北里大学病院	1135	○当院小児科は、相模原市を中心とした医療圏における高度医療を担っており、同医療圏における地域医療に貢献できる小児科医を育てることを目標としていること、がその理由となります。(小児科)	○・当院、及び当院の関連病院は相模原圏内にあり、同病院群での研修によりcommon diseaseの外來診療と入院診療、健診、より専門性の高いまたは重症な患者の診療を通して小児科医としての技能を培うことができます。 ・同医療圏内に、三次医療機関である当院と二次医療機関がありますので、患者の紹介、情報交換、相談などがしやすい環境が整っております。またそのため紹介後の経過もおいやすく、患者様を通して学びを得ることができます。 ・医局の文化として、1つ1つの症例、経験を大事にする臨床医としての姿勢があり、また屋根瓦式に上級医が後輩を指導し、またそのさらに後輩を指導してゆくということを大事にしております。そして、医局全体で協力して地域の子どもの医療を作り上げており、是非その一員に加わって頂けたらと思います。(小児科)
相模原	B	独立行政法人 国立病院機構 相模原病院	458	当院の目標の一つは『救急患者の要請は受け入れていくことを原則とし、断らない医療を目指し地域医療に貢献していく』であり、救急医療を中心に地域に根差した医療を行っている当院と地域枠の目的である地域医療に貢献する医師の育成に合致しているため受け入れを希望した。	【小児科】世界で一番食物アレルギーの患者数が多く、アレルギーに関する専門的な知識を学ぶことができます。小児一般は相模原市の二次医療の当番の半分以上を引き受けており、二次病院として、小児の幅広い疾患を見ることが可能です。
相模原	B	相模原赤十字病院附属相模原市立藤野診療所	-	相模原市の西部に位置し、旧津久井郡での力を注いでいるが、医師不足により目指すところの、安全、安心な地域医療が滞っている状況となっているため。	訪問診療、超高齢化に対する地域医療の経験
相模原	B	相模原赤十字病院附属相模原市立青野原診療所	-	相模原市の西部に位置し、旧津久井郡での力を注いでいるが、医師不足により目指すところの、安全、安心な地域医療が滞っている状況となっているため。	訪問診療、超高齢化に対する地域医療の経験
相模原	B	相模原赤十字病院附属相模原市立千木良診療所	-	相模原市の西部に位置し、旧津久井郡での力を注いでいるが、医師不足により目指すところの、安全、安心な地域医療が滞っている状況となっているため。	訪問診療、超高齢化に対する地域医療の経験
横須賀・三浦	B	横須賀市立総合医療センター	450	症例が豊富であり、指導医も多数在籍していることから、地域枠医師の修練に適切であるため、受け入れを希望いたします。 小児科は、地域周産期母子医療センターであることから、より高度な医療の提供が必要であり、更なる医師の確保が必要であると考えます。	三浦半島80万人医療圏の中核的な病院です。救急車台数も年間約6000台であり、2次、3次に特化した総合病院であるため、症例が豊富であり、それを支える指導医も豊富です。派遣された医師が臨床・研究・教育の能力を発揮し、充実した仕事ができ、社会に役立てるように配慮していきます。
横須賀・三浦	B	シャカイフクンホウジン聖テレジア会 鎌倉療育医療センター小さき花の園	72	現在常勤医が3名枠のところ2名で診療を行っている。各大学に医師の派遣をお願いしているが、医局員が少ないという理由で断られている。医師不足を解消したい。	児童から成人まで、重症心身障害児の診療を学ぶことができる。
横須賀・三浦	B	医療法人徳洲会 湘南鎌倉総合病院	669	神奈川県西の医療を継続して担う人材を確保・育成したい。	超急性期病院として24時間、365日すべての救急車収容要請を受け入れを実践しており、豊富な臨床経験を積むことが出来ます。現在当院では、がん診療はもとより、世界的に新しいカテーテル、ロボット手術、心臓手術、内視鏡的外科手術、トモセラピー・陽子線といった高精度放射線治療、さらには臓器移植、再生医療など次世代の新しい治療を提供できる病院として運営しております。
湘南東部	B	医療法人徳洲会 湘南藤沢徳洲会病院	419	神奈川県湘南東部地域の地域医療を支える当院救急や感染症チーム、およびそのバックアップとしての臨床はもちろん、県下での臨床教育に意欲のある若手医師の採用を積極的に行いたい。層の厚い当院の屋根瓦式教育は、次世代の地域医療を担っていく若手～中堅医師のニーズに沿った良質な研修/指導環境が提供できていると自負している。	当院では日常遭遇する疾病と障害等に対して適切な初期対応と必要に応じた継続的な診療を全人的に提供するとともに、地域のニーズを踏まえた疾病の予防、介護、看とりなど保健・医療・介護・福祉活動に取り組み絶えざる自己研鑽を重ねながら、地域で生活する医師を生活する人々の命と健康に関わる幅広い問題について適切に対応する医師を育成します。また辻堂駅すぐの立地で、敷地内には職員専用の保育園があります。
湘南西部	B	東海大学医学部付属病院	804	本院が属する神奈川県西部地域は県内でも相対的に医師不足地域であり、将来に渡り、地域医療に貢献する医師の育成と確保を図るため。	特定機能病院として高度医療を提供すると共に、神奈川県ドクターヘリを運用する高度救命救急センターを併設しています。また、総合周産期母子医療センターや造血幹細胞移植地域拠点病院、地域がん診療連携拠点病院として、専門的治療を行っています。
湘南西部	B	平塚市民病院	416	当院の救急車搬送患者数は10,060人(令和6年度)であり、全国的に見ても上位に入る多さであるが、一部の診療科では医師不足の状況が深刻化しており、「地域医療支援病院」として地域のニーズに応える医療を展開する中で、今後も引き続き安定して患者を受け入れるためにも、ぜひ医師の派遣を要望します。	当院は29診療科のもと、各科症例数も多いので、さまざまなスキルを積むことができ、幅広い科目で専門医の資格を取得することもできます。湘南地域で地域密着型の医療を提供する自治体病院の一員として、共に活躍していただける先生をお待ちしています。
湘南西部	B	秦野赤十字病院	308	医師偏在による定員医師不足のため受入を希望する。	当院は、秦野市の中核病院として救急医療や消化器病センターに尽力しています。また、がん診療にロボット支援手術も取り入れると共に、心血管疾患(急性冠症候群、脳卒中)に対する高度治療も尽力しております。なお、地域医療支援病院として、実地医家との地域連携を図ると共に、大規模災害時には、赤十字病院として災害救護の役割を果たしております。

地域実践標準4年（専門研修を希望しない場合は7年間）					
医療圏2	地域群	医療機関名	病床数	受入希望理由(病院説明事項)	キャリア形成に係るメリット(病院説明事項)
県央	B	社会医療法人シャパンメディカルアライアンス 海老名総合病院	479	当院は、昭和58年地域の皆様に誘致頂く形で海老名市に開院致しました。 これまで神奈川県県央地域の中核的医療機関として地域に医療提供を行って参りました。 従来以上に医療を通じた地域貢献を果たしていく為にも受入れを希望しております。	当院は、神奈川県海老名市に加え、座間市、綾瀬市を含む県央地域約34万人の診療圏を有する急性期中核病院です。 平成29年には県央地域初の救命救急センターを開設し、更なる高度急性期医療を提供できるよう日々取り組んでおります。 各診療科において専門性の高い医師が多く在籍しておりますので、数多くの様々な症例を積み重ねることが可能です。
横浜	C	昭和医科大学横浜市北部病院	689	—	—
横浜	C	昭和医科大学藤が丘病院	584	当院は1975年の開院から40年以上が経過し、耐震化や医療の高度化に向けて再整備計画をすすめています。再整備にあたっては、2018年10月に昭和大学、横浜市、東急電鉄の三者で「藤が丘駅周辺の新たなまちづくりの推進に関する協定」を締結し、駅前施設・公園・病院が一体となったまちづくりに取り組むことになりました。そのような状況下で今後ますます当院に対する期待が高まることが予想され、その期待に応えるためにもより多くの優れた医師を養成したいと考えているからです。	当院は大学附属病院としての高度な医療水準を保ちつつ、急性期医療から難病、リハビリテーションまで様々な疾患を多数診療しています。そのため多彩な症例を数多く経験することが出来ます。大学病院でありながらも各診療科間・各部門間の垣根が低く、コミュニケーションがとりやすい環境の中で患者さん中心のチーム医療を実践しています。
横浜	C	済生会横浜市東部病院	562	—	—
横浜	C	横浜市立大学附属市民総合医療センター	655	—	—
横浜	C	横浜州市立市民病院	650	2020年5月に新病院が開院するにあたり、多くの診療科で医師の増員を希望しています。また、地域枠の先生は定着率が高いと伺っており当院で意欲的に勤務していただけることを期待しています。	当院は横浜市の基幹施設として急性期医療に積極的に取り組むとともに、救命救急センター、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、第一種感染症指定医療機関、国の地域周産期母子医療センター、そして2019年4月からはがんゲノム医療連携病院に指定されているなど、日常よく遭遇するcommon diseaseから高度な医療を必要とする重症患者や難治性疾患まで十分な経験を積み重ねることが出来ます。また各分野の専門医にコンサルテーションができ、直接の指導を受けることが出来ます。 2020年5月には新病院が開院しますので、やる気のある先生方をお待ちしています。ぜひ一緒に新病院で頑張りたいと思います。
横浜	C	医療法人 産育会 堀病院	68	常勤医師の欠員補充	開院より45年地域に根ざした産科医療と小児医療を提供しております。
横浜	C	社会福祉法人 親善福祉協会 国際親善総合病院	287	外科、内科、泌尿器科、整形外科、眼科には既に大学人事での専攻医が所属し、他の診療科にも指導体制が整備されているが、いずれの診療科も医師不足である。	横浜市2次救急拠点病院Aとして年間5,000件以上の救急搬送を受け入れ、地域の中核病院として多くのcommon diseaseに対応している。産科では無痛分娩を積極的に行ない、分娩数の約半数を占めている。緩和ケア病棟を備え、診断から緩和までチームスナッグン医療を展開している。泌尿器科、外科、婦人科ではロボット支援手術を積極的に行なっている。
横浜	C	横浜療育医療センター	113	小児科、特に障害児医療に関わる医師不足のため。	少人数で濃厚に研修が可能であり、小児に特化した医療ケアが取得できる。
横浜	C	公立大学法人 横浜市立大学附属病院	671	—	女性医師支援をはじめ、働きやすい環境づくりのための各診療科会議の運用や各種制度の周知などを行っています。
横浜	C	神奈川県立こども医療センター	430	小児専門医療	小児科専門医に関しては基幹施設です。
横浜	C	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 神奈川県済生会横浜市南部病院	500	当院は横浜市大開連施設であるため、専門研修ローテーションを含め、医師の赴任離任は大学人事に依り行われているためです。	当院は指導体制も含め各診療科は横浜市大各教室と連携を密にしております。このことからとくに、指導医が複数いる診療科ではサブスペシャリティの指導体制も充実しております。
川崎北部	C	川崎市立多摩病院	376	当院は地域中核病院として、地域住民の健康を支えるとともに、将来の地域医療を担う医師の育成に貢献することを重要な使命と考えております。地域枠医師の受入れを通じて、診療体制の強化とともに、地域医療の継続性を確保し、安定的な医療提供体制の構築を図るため、受入れを希望します。	小児科：小児の一般診療から専門的な疾患まで幅広く対応。地域の小児医療を支えるべく、予防接種や健康診断にも力を入れています。
川崎南部	C	川崎医療生活協同組合 川崎協同病院	267	神奈川県内への医師定着を促進させるため、受入を希望いたします。希望した4科は指導医体制も整っており、専攻医を受け入れる条件が整っています。また、専攻医を受け入れることで、各科が活性化し、レベルアップできるきっかけになればと思います。受入を希望いたしました。	当院は地域に根ざした医療を提供しており、豊富なコンディージーズを経験することが出来ます。外来から入院、退院後の在宅医療まで、一人の患者さんを通して診ることができるのも当院の研修の魅力です。また病気を診るだけでなく、社会背景にも目を向けて、一緒に問題を解決し健康づくりに取り組むことを大切にしています。
川崎南部	C	医療法人社団和光会 総合川崎臨港病院	199	人材の確保 地域に根づいた診療を行う上で、実情を理解した医師を採用したい。	医師のQOLを優先しており、ご自身の希望に沿った勤務が可能となるよう条件提示しております。